

1966年度

第18回

外大祭

10月28日から11月3日まで

本大学および国民会館

主催

大阪外国語大学

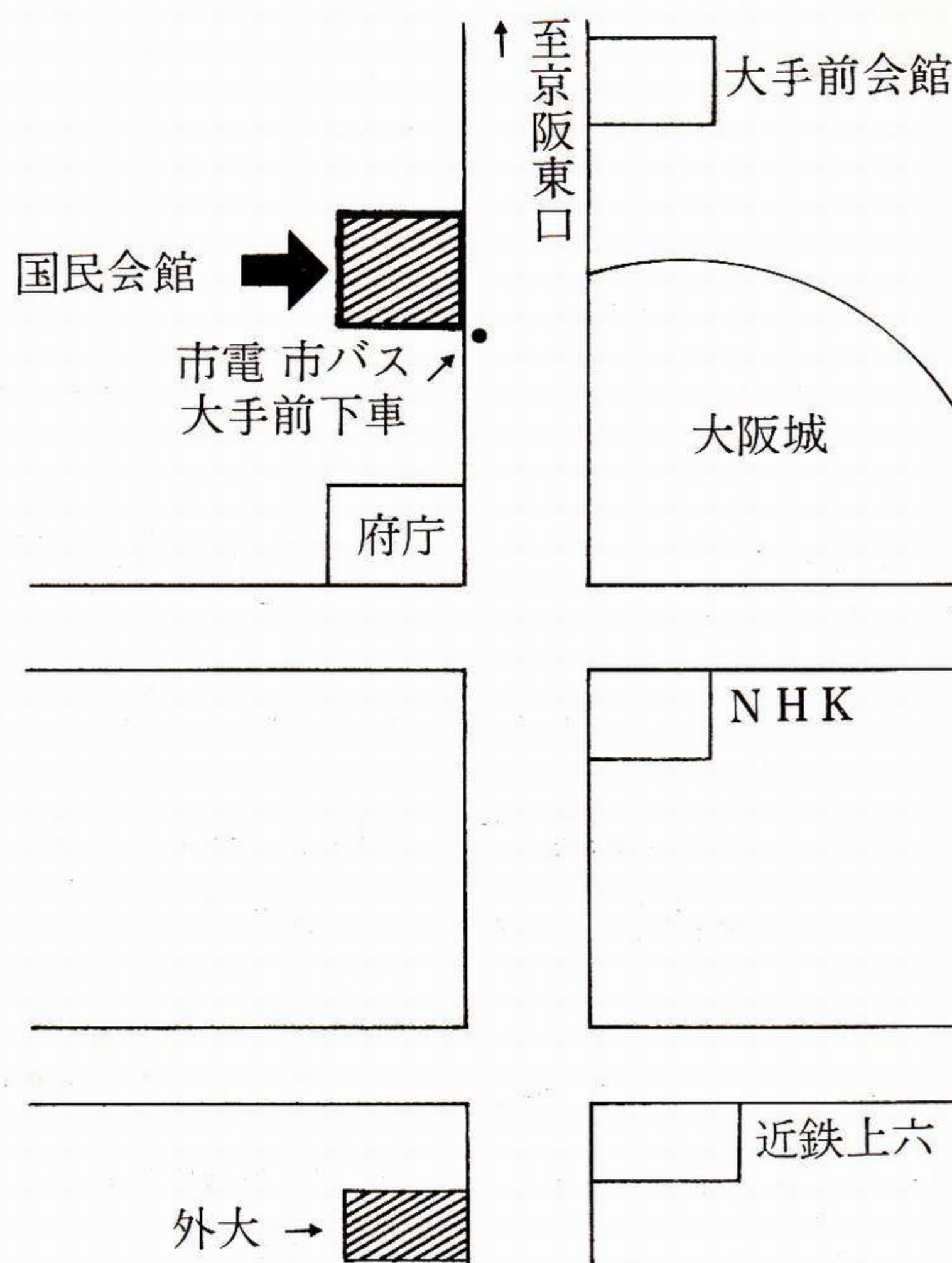
学生自治会

●国民会館

への道

10月30→11月1日

TEL 941-2433~5



年中無休 毎日入所

自由出席

ご希望の日！ ご希望の時間で！ 自由に
練習できるシステムです。

しかも6ヶ月以内に規定の単位を取れば免許証を手
にすることができます。

〈交通至便〉

環状線芦原橋下車西へ 100m

なんば, 大国町, 花園町, 元町4, よりスクールバスあり

公安委員会指定

芦原自動車教習所

浪速区芦原町1236 TEL562-0771(代)

外大祭によせて

学長 金子二郎

恒例の外大祭が秋とともにやつてきました。連日繰りひろげられているいろいろの行事が、今年も例年と同じく充実した楽しいものであることを期待し、長い間、準備に工夫をこらしてきた委員諸君の労を多としたいと思います。

この時代に学生生活を送ることは、いろいろの点で難しいことが多いと思いますが、また一方、学生生活というものは、いかなる時代においても、その人において生涯のうち最も楽しい希望にあふれたときであるはずで、わたしは絶望しないととも希望に溺れないことが、教養というものであり、どんな矛盾を感じ困難にぶつかつても、それを打開し、のり越えて行くのが勇気ある人だと思つています。その教養と勇気を獲得するために、われわれは学習しているのですが、それは教室に学べる学習だけで果されるものではなく、凡ゆる課外の活動を併せて、しかも一人一人が自分自分の条件に合わせて主体的に行うべきことでしょう。外大祭というような行事は、ただ楽しく遊ぶだけではなく、学生の一人一人がこういつた意味で、自らの生活を反省し、学習の態度をうち立てる契機になつてほしいと思います。

ともあれ、本年の外大祭が、文字通り全学学生諸君の参加のもとに、有意義に行われることを念願してやみません。

外大祭実行委員会挨拶

実行委員長

森上和茂(英語科3年)

言うまでもなく外大祭は外大のすべての教官、職員、学生のための行事で、わが大阪外国語大学のより一層の発展を目指しつつ、外大祭週間中は文字どおり外大全体は外大祭一色に塗りつぶされるのです。

団結することにより生じる貴い力(弁証法での矛盾の意味が日常使われている意味よりずっと広く一般的であるのと同様に、この場合の力はかなり広い意味で使っています)を拠り所にして有意義な学生生活が送れるようにと、外大の全学生によつて構成されている自治会がこの外大祭の主催者となつています。

即ち、自治会の執行機関である自治会執行委員会(この機関のことをよく自治会と呼んでいます。が、それは誤りで、正確には自治会とは上に述べたように全外大生の集りのことです)のイニシアチブにより毎年外大祭実行委員会という組織が結成されるのです。

私たち本年度の実行委員一同は中間テストという不利な条件の下で、外大祭の準備を何とかここまで進めてくることが出来ました。学校当局の方々と数多くの学友の御協力のおかげです。特に学生課長の八木浩先生と教務係長の永田さんには色々と細部にわたつて御世話いただきました。これ

らの方々に厚く感謝の意を表します。

外大祭の準備を通じて私はあらためて「団結は力なり」という格言の真実性を痛感しました。全外大生が団結して自治会に結集していないとすれば、つまり自治会という組織がないとするならば、外大祭というこのようなすばらしい行事を実現させることはとうてい出来ません。（政治的活動は自治会活動の必要かつ重要な部分には違いありませんが、それはあくまで部分であつて自治会活動の全体でないということに我々の注意を喚起する必要があるでしょう）

ここであらためて「団結は力なり」の意味の深遠さを、種々の具体的事象にあてはめながら、じつくりとかみしめようではありませんか。

外大祭を団結の一契機に

自治会執行委員長 三富建一郎（中国語科2年）

授業料値上げ反対を中心とした学生生活擁護のたたかいが野火のように全国に広がる中で、全学連は結成された。学生自治会とは全学友の利益を守るための組織として作られ、発展していったのだ。だが、学生の動揺性と過激性に便乗した挑発集団が安保斗争の高揚の中で指導部を握り、極左的な戦術によつて、自治会活動の一部の政治屋のものとして転落させた。

しかし、尖鋭化する学生生活の困難と、大学の自治に対する未曾有の攻撃は広範な学友を起ち上がらせ、学生の真の利益を守る組織として自治会を要求していった。「全ての学友が参加する自治会活動」をその第一の課題にかかげた全学連は、全国の学友の統一を求める声の中で再建された。「要求をかかげよう、そして、できるものからかちとつていこう」このスローガンが再建後2度目の今年7月開かれた17回大会の本流をなしていた。

自治会活動は新しい転機を向えた。全学友の要求の結集点として自治会は位置づけられ、要求に基いた活動が開始された。

巾広い文化的学問的要求の結集される大学祭に自治会は先頭に立つて取り組んだ。私達は外大の勉学条件の貧困さにくじけてはいけな。大学祭のあの爆発的なエネルギーと、数々の創意を生かしていこう。模擬店、語劇、シンポジウムにクラスで参加していこう。その時、私達は団結のすばらしさを知らねばならない。外大を豊かな学問研究の場とするための皆の情熱を確信として把まねばならない。

その中で考えよう。自分達がどこにおかれているか討論しよう。ベトナムの残虐な侵略の基地となつている日本、憲法を改悪し、徴兵制をしようとして小選挙区制の実施をねらう政府、それは民族的屈辱と戦争への不安をかきたて、享楽と怠惰の文化をはびこらす。だが、私たちの創造と変革のエネルギーはそれをつきやぶる。大学祭を私達の若々しい情熱によつて平和と独立のための第一歩としていこう

1966年度
大阪外大祭

フ。ロク。ラム

10月28日(金) 前 夜 祭

<雨天の場合は11月2日(水)に後夜祭として同じ要領で行います>

於本学：本学裏の公園(上汐公園)

*仮装行列 3:00 外大正門出発 4:30 外大着

*模 擬 店 4:30~8:30 於本学校庭、教室

*古 本 市 4:00~8:00 於A7教室(学生会議室)

*ダンスパーティー 6:00~9:00 於生協ホール

*フォークダンス・盆踊り・歌 5:00~8:30 於本学裏の公園(上汐公園)

10月29日(土) 全学シンポジウムの日

*全学シンポジウム 『ベトナム戦争と日本と世界平和』 1:00→4:00 於C1教室

*合気道大演武会(合気道主催) 1:00→3:00 於本学仮講堂

*うたごえ喫茶(はばたき主催) 4:00→6:00 於生協ホール

*ギター部定期演奏会 6:30 より御堂会館にて

1966年度
大阪外大祭

フ。ロ。ク。ラ。ム

10月30日(日) 国民会館での催し物

国民会館(財団法人)電(941)2433~5

大阪市城東区大手前之町2

市電・市バス「大手前」下車

10:00~10:30	ピアノ・ソロ	フアリシー
10:30~12:00	語劇「検察官」	ロシア語科
12:00~12:20	レコード・コンサート	放送部
12:20~2:00	語劇「木は立つたまま枯れる」	スペイン語科
2:00~2:30	演奏	室内楽団
2:30~4:20	語劇「五右エ門蒙古に渡る」	モンゴル語科(一部日本語使用)
4:20~5:00	琴	大阪女子大
5:00~6:50	語劇「第三帝国の恐怖と貧困」	ドイツ語科
6:50~7:10	女声コーラス	
7:10~7:30	留友会	
7:30~8:00	邦楽同好会	英語科・中国語科・インドネシア語科
8:00~8:30	演奏	トロピカル・スターズ

10月31日(月)

10:00~11:30	イギリス映画「土曜日の夜と日曜日の朝」	オリナシ会 実行委
11:30~12:10	うたごえ	モンゴル語科・スペイン語科・ロシア語科
12:10~2:00	語劇「女学者」	フランス語科
2:00~2:30	軽音	ザ・サウンズ
2:30~4:30	講演「憲法問題と小選挙区制について」	講師 長谷川正安氏 (名古屋大学教授)
4:30~6:30	語劇「ウォーレン夫人の職業」	英語科
6:30~8:30	ミュージカル「白毛女」	中国語科<日本語字幕つき>

1966年度
大阪外大祭

フ。ロク。ラム

11月1日(火) 国民会館での催し物

- 10:00 ~ 10:40 うたごえ 日朝 はばたき ビルマ、タイ
10:40 ~ 11:20 うたごえ 英語科 中国語科 インドネシア語科
11:20 ~ 11:50 うたごえ カルテット 自治会、実行委、リア研
11:50 ~ 1:20 構成劇「人間の運命」 リアリズム研究会
1:20 ~ 2:00 コーラス グリークラブ
2:00 ~ 3:30 語劇「愛の絆」 インドネシア語科
3:30 ~ 5:30 講演「愛情と恋愛」 講師 林田茂雄氏
5:30 ~ 6:50 語劇「医者義務」 イタリア語科
6:50 ~ 7:20 ギター演奏 ギター部
7:20 ~ 7:45 詩吟
7:45 ~ 8:30 演奏 ザ・サウンズ

11月2日(水) 学内討論会・展示会・研究発表

展示会「インドネシア共同研究 9・30運動」 インドネシア研

10:00 ~ 12:30 於 B12教室

展示会「教科書に表われた朝鮮」 朝鮮1年

10:00 ~ 3:00 於 A8教室

研究発表「ヴェトナム侵略の基地としての沖縄・小笠原」 沖縄・小笠原返還同盟

10:00 ~ 12:30 於 A5教室

紹介展「近代モンゴル紹介展」 モンゴル研究会：主催 日・毛親善会

10:00 ~ 12:30 於 A3教室

東外大モンゴル研 } 共催

学内討論会(語科別) 3:00 ~ 5:00

「最近の学生の自治的研究活動の抬頭をめぐって」

シンポジウム 女子寮問題・女子施設 就職(教育実習) 新婦人主催

1:00 ~ 3:00 於 B8教室

11月3日(木) ハイキング

近鉄沿線 暗峠・鳴川峠 ハイキングコース

9:30 近鉄上本町駅テレビ下集合

前夜祭<10月28日・金>

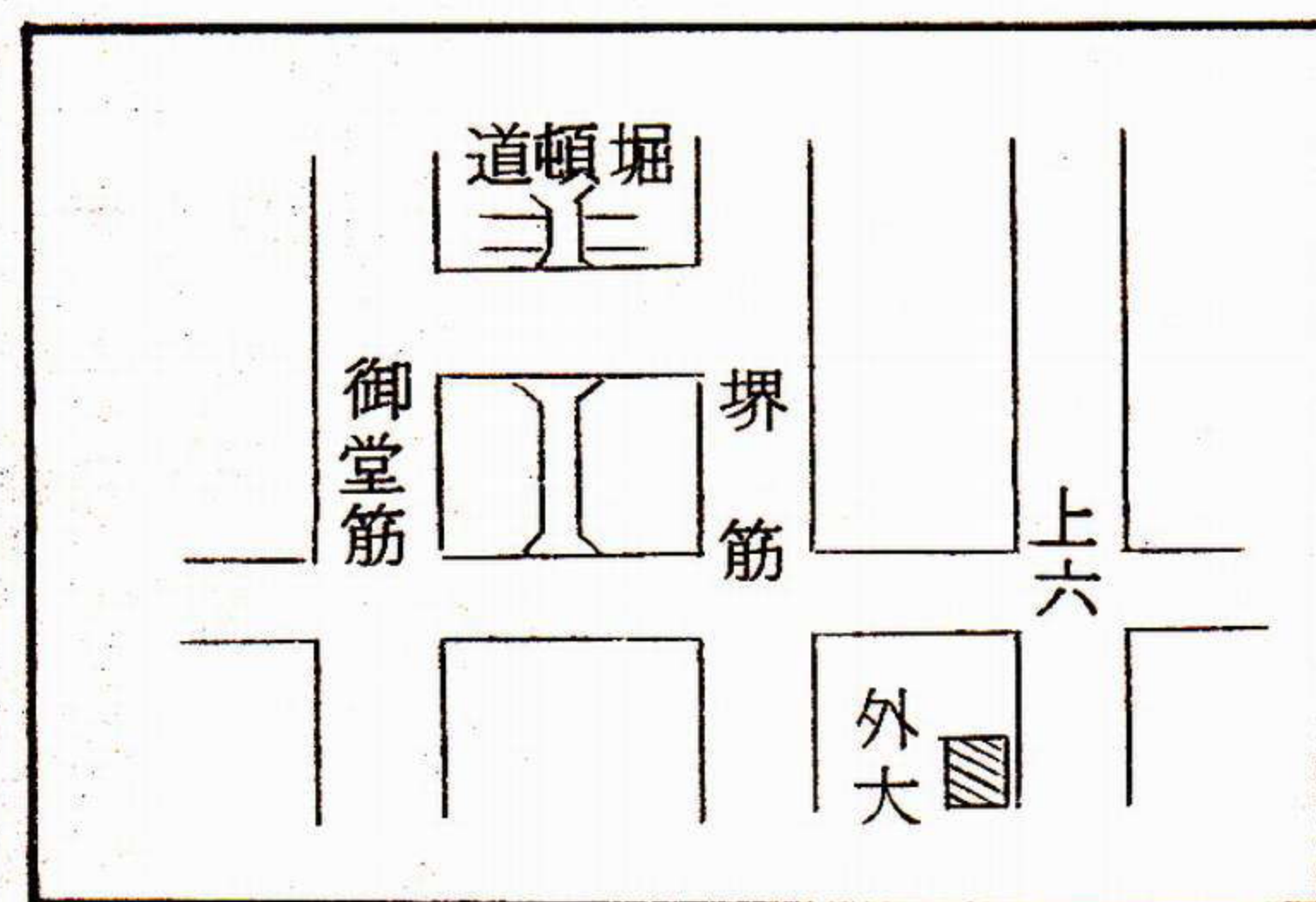
於・本学・本学恵公園

当日が雨の場合は、11月2日(水)に後夜祭として同じ要領で行います。例年使用している南運動場は今年は使用できなくて、南運動場では何も催しません。かわりに本学裏の公園(上潮公園)を使用します。

仮装行列

<仮装行列のコース>

2:30~2:55	仮装準備
2:55~3:00	外大正門前集合
3:00	外大出発、行進開始
4:30前後	外大帰着
~5:00頃まで外大内にて披露	
5:00頃	解散



*参加団体

ビルマ、中国、朝鮮、タイ、英語、
インド、パキスタン、寮生、ESS、他

模 擬 店

4:30~8:30 於 本学校庭・教室

外大祭から模擬店をとつてしまえば、それはもはや外大祭ではない。今年も色々の語科、サークル等の特色を生かした臨時飲食店なるものが狭い外大の敷地にひしめきあうのだ。

*参加団体

グリーと女性合唱団・テニス部女子・金曜日の会・ラグビー部・日ソ協会・ワングル・料理れんげの会・洋弓部・ギター部・日中協会・沖縄小笠原・合気道部・卓球部・イスパニア語1年・フランス語1年・中国語1年B・ビルマ語・アラビア語・文美研・朝鮮語科1年ブルコギ会・アラビア語3年・ロシア語1年・中国語1年A・英語科1年B・デンマーク語・インドネシア語・ロシア語2年A・モンゴル語1年・中国語2年・ドイツ語1年女子・ペルシャ語・中国語3年・タイ語・インドパキスタン語・剣道部・イタリア語

出品=レモンテイ・アイスクリーム・茶漬け・ビール・おでん・東欧民芸品・射的・コーヒ・たと焼・しるこ・ぎょうざ・アワモリ・ハイボール・焼肉・キムチ・ジンギス汗・くし焼・焼鳥・レモネード・ポテト・スパゲッティ・民芸品 等多数出品

前夜祭<10月28日・金>

於・本学・本学恵公園

The Ball

ダンスパーティー

Even if you cannot dance, the music furnished by 'The sounds and Tropical Stars' will be alone worthwhile.

DATE/FRIDAY, OCTOBER 28

TIME/6:00~9:30P.M.

PRACE/CO-OP HALL

BANDS/THE SOUNDS, TROPICAL STARS

6:00~9:00 於 生協ホール

演奏 ザ・サウンズとトロピカルスターズ

切符 200円 (外大生は100円

に割引) にて、外大祭実行

委員会と空手部で販売中

フォークダンス・盆踊り・歌

5:00~8:30 於 本学裏公園
(上潮公園)

5:00~6:20 フォークダンス

6:20~7:00 歌

7:00~8:20 盆踊り

8:20~8:30 歌

「踊る阿保に見る阿保、同じ阿保なら踊らにやそんそん」とはよく言つたものです。全くそのとおり。今晚一晩ぐらい踊る阿保になつたつていいじゃありませんか。フォークダンスも盆踊りの方もその場で丁寧に踊り方をお教えます。また大声を張りあげて青春の歌を歌いましょう。歌詞はそのときに印刷したものをくばります。(放送部E・S・S協力)



エツへへへ...

みなさん こんにちは

ぼく おばけのQ太郎

だよ

さあ みんなで たの

しく おばQ音頭を

うたつて おどろうね

そーれ

古本市

4:00~8:00

於A7教室(学生会議室)

大阪古書籍協会提供の本と外大友の
不用の本とを特別廉価で販売します。
語学書はもちろんのこと、経済・法律
文学等の本が多数あります。

全学シンポジウム

『ベトナム戦争と日本と世界平和』

1966年10月29日(土)於・本学

先日、「韓国」の2万の白馬軍団が又、南ベトナムへ送られた。彼ら朝鮮人とはどこでどう関わりがあるのか、ベトナムの戦争の中に送られる夫を、息子を、父を『アイゴー』の泣き声で叫びで満たされた空港の女たち。そして他の写真では、列車の窓から腕をつき出した軍服の「韓国」の男たち——。彼ら南朝鮮の男たちは、女たちは、その彼らの叫び声を、泣き声を、どこへどう向けようとしているのか。彼らのその悲しみは、怒りは、どのような運動法則をもっているのか。もしそれらの叫びが、法則をもっていたとしたら、誰が、その法則を見つけるのだろうか。そしてどう組織化していこうとするのか——。

私たち日本人にとつては、それらの問題を追うことは不要かもしれない。しかし、次のことだけは言えるだろう。今のあのベトナムへ送られていく「韓国」の男たちが、泣き叫ぶ女たちの姿が、『明日』の日本の男たち、女たちとならないとどうして断言できるだろうか。

現在、ベトナムの戦争において、日本の政府、日本の産業が果している役割を無視しては、語れまい。それはすでに、アメリカの極東における最大の軍事基地となつている沖縄をみれば、そして、恒常化しつつある米原子力潜水艦の寄港、軍需物資、ベトナム特需の急増、自衛隊の海外派兵化……、全てが、一日の新聞の中で拾える活字の中にある。

50年の朝鮮戦争の時、アメリカの高官は『もし日本がなければ、朝鮮における戦争は、三ヶ月も続けることはできなかつたであろう』と言つていた。この言葉の意味を、そして『朝鮮』という言葉、『ベトナム』に変えてみたら——。

日本の自衛隊はベトナムには『まだ』行つていない。しかし、ベトナムでアメリカ軍が落す爆弾の90%以上は日本で作られたものだ。「韓国」には、共産党も、社会党も、そして労働組合さえも、極度にその活動を制限されている。ベトナムに男をとられた朝鮮の女たちの叫びは未だ、組織された力とはなつていない。しかし、一方、日本では、何が、日本の自衛隊を、ベトナムへ送ろうとするのを阻止し得ているのだろうか——。戦争をにくみ、平和と民主主義を守ろうとする私たち。多くの日本の働く男たちで、女たち、学生たち。もし、私たちの、これらの声が、叫びがなかつたとしたら——。

自衛隊はもうすでに、徴兵制の大準備を始めだした——。

どうして、日本の男たちが、そして女たちが、ベトナムへ、朝鮮へ送られないといえよう。シンポジウムは、このような、迫りつつある侵略戦争への感触の中でできるだけ身近かな問題と結びつけて話しあつていきたいと思います

***合気道大演武会（合気道主催）**

1:00~3:00 於・本学仮講堂

京大・阪大・和・大阪府大並びに大阪・京都
和歌山の各師範を招いて、合気道大演武会を開
催します。今や破竹の勢いで広まりつつある合
気道をまだ見られていない方、武道に興味ある
方は男性・女性を問わず是非おこし下さい。

***うたごえ喫茶（はばたき主催）**

4:00~6:00 於・本学仮講堂

主な内容

- ・さあうたいましょう ・語科対抗歌合戦
 - ・リクエスト曲 ・ふるさとの歌
 - ・特別出演 ・とび入り ・歌唱指導
- （入場券発売中 50円（歌集+飲物））

☆よりよき生活と平和のために

☆一人は万人のために万人は一人のために

食
堂
部

食
品
部

書
籍
部

購
売
部

喫
茶
部
(ミール)

CO-OP

大阪外国語大学生生活協同組合

TEL 772-9690・771-7909

☆生協施設の拡充を学校当局に要求しよう！

☆書籍部のプレハブハウスを勝ちとろう！

☆水道・光熱費の国庫負担を勝ちとろう！

☆ベトナム人民を支援し、小選挙区制を粉碎しよう！

☆外大祭を成功させよう！

《音楽祭典》

* ピアノ演奏会

演奏者＝ オースチン・フアリシー（本学英語科客員教授）

作曲者＝ E・グリーグ（1843～1907、ノルウェーの代表的作曲家で、日本では、組曲「ペールギュント」で広く知られている。）

演奏曲目と解説

- 1 Bells Ringing（鐘が鳴る）アンダンテで強く弱く流れる鐘の音。
- 2 Walty（ワルツ）単純な旋律の小さなダンス曲。
- 3 Norwegian Bridal Procession（ノルウェーの婚礼の行進）
ノルウェーの小さな田舎村でのお祭り風景
- 4 Albam Leaf（手帖の頁）ダンス用の軽やかな、優しい旋律。
- 5 Butterfly（蝶々）軽快に戯れ飛ぶ蝶の愛らしい姿。
- 6 Nocturn（ノクターン）鳥の声も聞えてきそうな静かな夜の雰囲気。
- 7 Puck（妖精）の日本でいえば河童みたいないたづらつばい妖精の動き。
- 8 To Spring（春に寄す）北欧に春が訪れた！晴々とした人々の感情。
- 9 At Jhy Feet（お前の足に）愛らしいあの人の前にひざまずいて、愛を捧げたあの日の思い出。幾分情熱的に、また幾分幻想的に。
- 10 Wedding Day at Trolldhaugen（トロルドハウゲンの結婚の日）
田舎で見かけたひなびた農夫の結婚式に心をひかれ、温い目で見守る憂いを帯びた旋律は花嫁の感傷か、行進は素朴にまた賑やかに進んで、やがて遠ざかる。

* 室内楽のグループ

- 1 Concerto Grosso №8 A. Corelli
- 2 Trio H -moll C. Ph. Em. Bach
- 3 春の海 宮城道雄
- 4 Pastorale A. Corelli

Violin 三好・長谷 Viola 毛利
Flute 杉田 Piano 前田

* トロピカルスターズ

演奏曲目 アフリリ、リリウエ・恋人よアロハ・ハワイのわらぶき小屋、ドリーム、珊瑚礁の彼方、ヒロ・マーチ、しばしの別れ

国民会館での催しもの

演奏者 九里竹一(インドネシア4年)、井上隆司(インドネシア3年)、山村伸朗(英語3年)
長岡紘(仏3年)、木原正弥(露3年)、有海俊彦(M2年)、東村孝郎(M3)、山
本次介

*詩吟

詩吟同好会 「朴甫の生涯」

朴甫が唐の文学を代表する詩人であるばかりでなく、中国の古今を通じて最も偉大な詩人であることに間違いはあるまい。

彼の前半生は、玄宗皇帝と楊貴妃の恋物語がはなやかに世の中をいろどつた時代に、仕官の望みを抱きながら焦慮する不遇の書生であり、後半生は、戦乱の中を妻子をかかえてさまよい歩く不幸な家長であつた。

その朴甫の一生を詩吟を通じて表現したいと思つています。

詩としておなじみの「春望」、「貧交行」など。 御期待乞う！

* The Sounds & The Sounds Jr.

演奏曲目	朝日の当る家	My Lonely First Love
	Secret Agent Man	Tambourine Man
	Night Train	Pipe Line
	Gold Finger	
	アナスターシア	
	二人の銀座	
	Blue Star	

今年4月に新入生の加入により全メンバーは10人となりThe SoundsはVocalを加え非常にレパトリーは広くなり若くなりました。The Soundsは今年で4年目ですが、去年近畿でのバンド合戦で優勝する等着実に実力を上げてまいりました。これからも一生懸命に頑張りますから、よろしく御声援お願いします。

演奏者 松井義正(インドネシア4年)、後藤忠司(T3年)、沢野井要(E3年)、前田和明(M2年)、南和宏(A1年)、井上晶二(E1年)、中路公男(E1年)、藤岡彦三(T1年)辻本三郎(B1年)、乾洋二郎(I1年)

* GLEE CLUB

演奏曲目	ウボイ	チエコスロヴァキア民謡
	アニーローリー	イギリス民謡
	人間の歌(抜粋)	男声合唱組曲 作詞・堀口大学、作曲・多田武彦
	Steal Away	黒人霊歌
	Ride The Chariot	〃

国民会館での催しもの

我がグリークラブは、本学唯一の男声合唱団で現在部員は50数名を擁し、最も大きいクラブの一つです。今年は第10回定期演奏会に当たるので、日夜はりきつて練習しています。さて、クラブ活動は、4月の新入生勧誘から始まり、大阪府合唱祭、ジョイント・コンサートがあり、夏休みには例年信州に合宿し、秋には合唱コンクールと定期演奏会を行い、春休みには日本各地に演奏旅行をし、かくしてグリーの1年は終わります。私達は昨年大阪府合唱コンクールで2位に入賞した実績が示すように、合唱の技術を磨くことはもちろんですが、それ以上に、部員相互の和気あいあいたるメンタルハーモニーが我がクラブの信条です。日頃は昼休みに中庭などで青空(?)の下でパート練習を行っているのは、皆さん御存知と思います。聞いておられておわかりのように、オンチもおります。

皆様　こそつてグリーへ　（女性は涙をのんで……………）

*ギター一部演奏

演奏曲目　月光

プレリユード（バツハ）

6つの小品

禁じられた遊び

アルハンブラの思い出　その他

クラブとして発足して6年、クラシック・フラメンコ中心のギター合奏を目指して、研究・努力を重ね、今年は来る10月29日（土）午後6時30分から御堂会館で第4回目の定期演奏会を開きます。

*邦楽演奏（箏曲・尺八）

演奏曲目　1.白合百舞曲　大阪の菊伊都　美津江作曲

初歩の人でも楽しく弾ける、尺八の助奏を加えた箏曲の小品

2.山の精・木の精　東京の新感覚派の坂本勉作曲

等三部、コーラスに尺八を加えた交声曲である。

演奏者　箏……………浜田（M1）、外村（D1）、堀江（D1）

小林（R2）、松本（C2）、松尾（R2）、安川（R2）

重田（R3）、藤本、吉川、富田、梅津、平田、村上（E4）

横手、小谷（B）

尺八…　川原田（S1）、山口、小谷、堀江（C1）、石東（R1）

長尾、野村（D3）、盛野（H3）

内田（4）、森田（M4）、湯沢（H4）、江里口（C4）

箏曲　菊津木昭子　指導

尺八　大西　春山　指導

国民会館での催しもの

*女性コーラス

演奏曲目	ぶらんど	安西冬衛作詞 中田喜直作曲
	青い鳥	堀口大学作詞 清水 修作曲
	青空の小径	中村千尾作詞 中田喜直作曲
	きけアポロの琴	津川圭一郎編集

《構成劇》

外大リアリズム研究会

「人間の運命」 原作 ミハイル・ショーロホフ

スタッフ

翻訳	漆原隆子
脚本	伊藤次夫・近藤泰彬
演出	伊藤次夫
製作	荒木武司
〃 助手	福井和美
舞台監督	藍沢季史
美術	内田祥三・井上和子
効果	山下恵美子
衣装	中村玲子・吉沢房枝 桜井啓子

キャスト

アンドレイ・ソコロフ	平野貞義
イリーナ	野田日出子
小隊長	奥村 稔
軍医	康 富一
ミューラー所長	中原 潤
クルイジネフ	保永治郎
大工の老人	野良 健
アンナ	山下恵美子
捕虜	請田裕史・三富健一郎
ドイツ軍将校	郷 直樹・荒木武司
	藍沢季史
ドイツ兵	伊藤次夫
ナレーター	寺田共子

あらすじと紹介

男の名はアンドレイ・ソコロフ、1900年ドン河のほとりにあるヴォロネジに生まれた。若くして、革命に加わり、1922年の飢饉で家族全員を失った。その中でイリーナを知ったことが唯一つの甘い、幸せな青春のひとときであつたかも知れない……。第二次世界大戦の勃発。そしてナチの捕虜としての収容所の生活。脱走……。その後にソコロフを待つていたものは一体何であつたのだろう……。

原作を読み、みんなでシナリオを討論するなかで色々な問題がでてきた。3回、4回、5回と討論するなかでシナリオは出来た。そして御覧になれば分るように原作とは大分異つたものになつたが、これは劇化したためではなく、我々が書き変えたものである。そこに我々リア研の性格と個性を読みとつていただければさいわいである。ロシア語の法橋先生には内容など色々援助いただいた。先ずは文化不毛の外大に民主的、民族的文化の息吹をと願つて。!

《映画》『土曜の夜と日曜の朝』

おりなし会
(映画研究会)

＜スタッフ＞



製作：トニー・リチャードソン

脚本：アラン・シリートー

監督：カレル・ライス

音楽：ジョニー・ダンワース

撮影：フレディ・フランシス

＜キャスト＞

アーサー：アルバート・フィニー

ドーリン：シャーリー・A・フィールド

ブレンダ：レイチエル・ロバーツ

＜解説＞

この作品は1961年英国アカデミー最優秀作品賞を獲得し、あわせて最優秀女優賞（レイチエル・ロバーツ）・最優秀新人賞（アルバート・フィニー）をも獲得した。またアルゼンチン・マル・デル・プラータの映画祭でも多数の賞を獲得し、世界各国にセンセーションをひき起こした。日本でも1961年度芸術祭に参加し、各評論家、映画誌はこぞつて激賞した。カレル・ライスはこの作品においてこの青年を駆使することによつて現代を描くのに成功をおさめたと言わざるをえない。

《ベトナム戦争と日本》

国民会館会場写真展示

*10月30日→11月1日 *主催＝ベトナム人民支援センター

国民会館での催しもの

〈特別講演会①〉

11月1日(火) 4:00~6:00

林田茂雄氏「愛情と恋愛」

「歴 1907年熊本県の農家に生まれ、17才の秋、百姓をやめて上京、日雇い人夫や本屋の住込小僧を経て社会運動に入り、文学の創作や評論や哲学などの勉強を積む。

東京から、愛情論・人生論に関しては第一人者である林田先生を特別にお招きしました。

「愛情と恋愛」というわれわれ若人にとって興味あるテーマで講演して下さいます。先生の著書は実に数多くありますが、人生論的なものが多数を占めています。

主なるものを次に掲げます。

△人生論(理論社) △愛情論—第二人生論—(理論社)

△漱石の悲劇(理論社) △若き日の疑問(三一書房)

△自殺論(三一書房) △親鸞(三一書房)

△愛と幸福の哲学(三一書房) △人生の疑問(青春出版社)

〈特別講演会②〉

長谷川^{まさやす}正安「憲法問題と小選挙区制」

略歴 大正12年1月24日土浦市に生る。昭和21年東京商科大学卒業。昭和24年名大法学部助教授。昭和31年同大学教授となり、現在に至る。専攻、憲法、法社会学

- 〈主要著書〉 「マルクシズム法学」(S26. 日本評論新社)
「フランス憲法の発展と特質」(S27. 日本評論新社)
「憲法判例の研究」(S31. 勁草書房)
「日本の憲法」(S32 岩波書店)
「近代社会観の解明」共著(S27. 理論社)
「国家と法」共著(S32. 青木書店)

イスパニア語劇『木は立ったまま枯れる』

作・アレハンドロ・カソーナ

〔作者紹介〕

本名は、アレハンドロ・ロドリゲス・アルバレスといい、アストウリアスのベスーリヨで生まれた。彼は、エンリケ・ハルディエル・ボンセラと、フェデリコ・ガルシア・ロルカと共にスペイン近代劇の創始者である。1936年のスペイン内乱の開始と共にスペインを亡命し、中南米各地を転々とし、1965年故国スペインで惜しまれながら、他界した。代表作は、「Nuestra Natacha」や本語劇の「Los árboles mueren de pie.」がある。

〔物語〕

自殺しようとしていたイサベルは、一風変つた様相を呈している事務所のドクトールに助けられて、そこへやつてくる。又そこへ妻（アブエラ）と一緒に暮しているバルボアが、慈善を求めにやつてくる。そのわけは、彼が20年前カナダへ追い出したやくざな孫のことを思つて、アブエラが日々に弱つていくのをみかねて、偽りの手紙をかき、アブエラの心をなぐさめていたが、突然一通の実の孫から電報がくる。孫が帰つてくるといふ。所が翌日新聞に彼がのつた船が船客共沈没したというのをよんで、このことが、アブエラに与えるショックを思つて、孫の代役を頼みに来たのだ。マウリシオに孫の役、イサベルにその妻の役を頼んだ。アブエラは、こういう芝居を疑おうともせず、毎日楽しく余生を送つていたが……

〔スタッフ〕

監督 染田秀藤
助監督 花田盛治、阪本喜代松
照明 葛野敬造、鈴木惟司
舞台 大下隆司、大釜心一
宮下正明
音楽 谷徳三、円山竜彦
衣裳 橋本悠子、上勝武子

〔キャスト〕

イサベル	松原恵美子	イルシオニスタ	小藪博靖
マウリシオ	出村 豊	バルボア	柳谷精二
アブエラ	米谷洋子	パストール	柴本豊造
エレナ	松井京子	オトロ	林 浩
アメリカ	吉原多美江	カサドール	山蔭孝夫
ヘノベバ	北谷紀子	フエリサ	北山祥子

国民会館での催しもの

フランス語劇『女学者』

作・モリエール

学者気取りの妻フィラマントに年がら年中痛めつけられている恐妻家クリザールにも、一家の長たる面目を回復すべき決定的な日がやつてきた。優しく可憐な妹娘アンリエットは好青年クリタンドルと恋仲、ところが妻フィラマントは事もあるうに鼻もちならぬ卑劣なえせ学者トリソツタンを婿にしようというのだ。

クリザールは若い二人の恋を成就させようと、クリザールの弟、アリストに励まされ、ヴォーヅラーの文法規則を無視したというだけのことで、フィラマントに暇を申し渡された女中マルチヌを味方に断固立ち上がる。

相も変わらずトリソツタンの怪しげな詩に夢中のフィラマントと、妹娘アルマンド、すべての男は自分に恋していると信じきつている妄想狂のクリザールの妹ベリーズという、三人の＜女学者＞たちを向うにまわして！

かのトリソツタンはといえば、三流学者ヴァデイウスと互いに相手をほめあつているうちにいつの間にか口汚なく罵り合いだす始末。

——いよいよ結婚契約署名の場。公証人の前には花嫁一人に婿二人。だが、土壇場にかけてたアリストのニセ手紙の奇計で財産目あてのトリソツタンの化けの皮は遂に剥がれる。ここに至つてフィラマントはクリタンドルの真価に眼を開き、かくしてアンリエットはクリタンドルの胸に……

*キャスト

クリザール (裕福な商人)	岩田 悠三
フィラマント (クリザールの妻)	小沢三津恵
アルマンド (クリザールの長女)	西村伊佐子
アンリエット (クリザールの次女)	長田弥旗子
アリスト (クリザールの弟)	伊藤 裕之
ベリーズ (クリザールの妹)	奈良 和美
クリタンドル (アンリエットの恋人)	中村功 (2)
トリソツタン (えせ学者)	横田 納
ヴァデイウス (三流学者)	増田 潔
マルチヌ (女中)	久保満智子
レピーヌ (召使)	木原秀武 (2)
ジュリアン (ヴァデイウスの従僕)	東川正晴 (1)
公証人	坂口 肅
ナレーター	山本 邦子

*スタッフ

制 作	渡辺 裕文
演 出	滋賀 義邦、瀬川 浩示
	乾 和子
マネージャー	河西 浩哉
宣 伝	丁野加寿代
装 置	西野憲二郎
美 術	笹部 康子
衣 装	山崎真理子
会 計	奥田 忠男、山本 邦子
照 明	中村 武史
大 道 具	高畑 千秋
小 道 具	長岡 紘
音 楽	坂口 肅

国民会館での催しもの

モンゴル語劇『五右エ門蒙古へ渡る』モンゴル語学科ゴビ

夢、ロマン、詩情を求めて渡った彼の荒涼たるモンゴルの地で、五右エ門、長範は、はたして何をしでかすのでありましょう？……いつも陽気に生きる五右エ門、身につけた教養がそうさせるのか、人生を考える長範。

モンゴル語が全くわからぬゆえに五右エ門がひきおこす、あれやこれや。それを助ける語学の天才、エリート長範。たまたま、盗族に襲われるカップルを助けたがゆえに……

恋ゆえに助けを乞う若き二人をダシに、まんまと高僧に化けた五右エ門と長範、親心を利用してあの手この手のたくらみは、はたしてうまくゆくだろうか？ 美しいモンゴルの自然を背景に、迫力ある立ち回りシーン、郷土色豊かな踊り、民謡を織り込んで送る大ロマンス。必ず見てチョウダイ！ 最後にこの劇は我等が先輩、故武田清氏の「海を渡った五右エ門」を基にするものである事を記す。

* スタッフ

制作	杉友啓祐	照明	角道正佳
演出	藤川千草	効果	北山将幸
装置	森田育宏	メーキャップ	森下宏子
道具大	池田哲郎	会計	谷川 肇
小	井村 丕	情宣	佐藤 清
衣裳	正田サカエ	渉外	杉友啓祐

* キャスト

五右エ門	森田育宏	C	戸川 浩
長範	庄垣内正弘	D	佐藤征治
村長	杉友啓祐	E	藤井謙次
その娘	高田淳子	チャムの踊り子	A 夏目勝引
娘の恋人	伊津野武晴	B	林 卓也
盗族 A	秋山和男	C	尾辻敏久
B	永尾隆行	チレネーチンの踊り手	A 浜田維久子
C	沢 恒昭	B	梶 康子
村の男 A	池田哲郎	解説者	石馬祖俊
B	杉本清隆		

イタリア語劇『医者の義務』

作・ルイーヂ・ピランデッロ

19世紀ヨーロッパを風靡した実証主義精神は、文学の世界では仏自然主義文学として華々しく開花し、Italia にあつてはその影響を受け、又その系統であるVerismo(真実主義)の影響をPirandello はその初期には受けていたが、以後一転してあの偉大な19世紀実証主義に反抗して非論理性をテーマにするRelativismo(相対主義)になつて行つた。絶対の世界あるいは絶対の真理というものの存在に挑戦したのです。彼がこの様なテーマを取る様になつたのは色々の原因、理由が有るだろうが、生まれ故郷Siciliaを見る時、近代化、西欧化し発展していく北伊に比し、封建制がまだ根強く残つている南伊、広くは繁栄する先進西欧諸国とItaliaの関係が彼の心に重くのしかかつていたからでしょう。

我々がとりあげるこの劇は、そんな彼の処女作です。妻子ある身のTommaso氏、夫ある身の女性と雲ゆきが怪しくなりました。妻を寝取られた夫君、突然復讐の念に燃えてTommaso氏に襲いかかつて行つたのですが、傍しくも反討、だがTommaso氏根から悪人ではありませんので、心臓に一発、自殺を企てたのですが、ここで彼が死ねば劇もなり立たなくなつてしまうので、それでは大変。お医者さんが馳参じ、ついでお巡りさん、弁護士さん、Tommaso氏の奥さん…とお話しが始まるわけであります。一人の人間を一面からしか、それは職業というものを通しての場合もありましょう。見なくなつた時、そこに悲劇が生じて来るのです。

*キャスト

トマーソ・コルシ	谷口 孜 (2)
アンナ：トマーソの妻	橋本佳子 (2)
レイス夫人：アンナの母	波多野静枝(2)
レッチ：医者	北川敏明 (2)
チメツタ：弁護士	石野 隆
ローザ：女中	山田真紀 (1)
警察官	高野 裕 (1)
看護人	柄 武則 (3)

*スタッフ

演出	上杉昭夫 (3)	伊東正晴
舞台装置	池田耕太郎(1)他	
衣裳	斎藤典子(2)	中村玲子(1)他
照明	園本完(1)他	
音楽	乾洋二郎(1)	岩崎雅樹(1)
プロンプター	池田 豊(2)	中谷桂子(2)

国民会館での催しもの

ドイツ語劇『第三帝国と貧困』 作・B・ブレヒト

B・ブレヒトの「第三帝国の恐怖と貧困」は、ナチス圧制下のドイツ人民の状況をえがきだしたもので、さまざまな小さな場面からなりたっている。

わたしたちはその中から、語劇という性格を考えて「白墨の十字」「泥沼の兵士」「スパイ」「黒い靴」「国民投票」の5つをえらんで上演することにした。

ヒトラーは、政権を掌握した初期には、はなばなしい成功でもつてその貪欲な領土的野心を満足させていった。しかし、そのかげには、はたらく人々に対する狂暴な抑圧と搾取があつた。「白墨の十字」にみられるような突撃隊（SA）の残虐、ナチスの諸組織によつて、わが子までも信用できなくなるという「スパイ」など、帝国主義の国家の不幸があざやかに浮きぼりされる。

かつて戦争があつた。そうしてヴェトナムでは今も侵略戦争が行なわれている。ブレヒト没後十周年を迎えた今年、わたしたちは、この劇によつて、いくらかでも、世界から戦争を追放することに協力したいと思うのである。

*キャスト

泥沼の兵士：川崎（3） 長尾（3） 春名（2） 赤尾（1） 友田（1）
白墨の十字：阪本（3） 木村佳（3） 安田（3） 水木（3） 野村（3）
スパイ：佐藤（3） 浅尾（3） 春山（3） 服部（2）
黒い靴：窪田（3） 大沢（3）
国民投票：高木（3） 吉川（3） 梶原（2）

*スタッフ

総監督：西村（3）
演出：高井（3） 川崎（3）
大小道具：安田（3） 水木（3） 浅尾（3） 大林（3） 奥野（3） 若月（3）
：木村寿（3） 塩川（3） 村瀬（1） 林（1） 小山（1） 羽田（1）
大滝（1）
照明：松尾（2） 小山（3）
舞台：吉川（3） 豊島（2）
音響効果：山下恵（3） 番野（1） 渉外：高木（3） 吉川（3）
情宣：木村佳（3） 林（1） 会計：窪田（3）
衣裳：阪本（3） 他に2・3年女子全員

国民会館での催しもの

中国語劇『白毛女』〈歌劇〉

* あらすじ—横暴地主の黄家の若旦那、黄世仁は小作人の楊白芳に彼の一人娘の喜ルを税金の代りによこせと迫り、遂に無理矢理に楊白芳に押印を押させる。正に1930年代のある大晦日の夜の出来事。楊白芳は寄る年波とその余りにも残酷なしうちにより、自分の家の前で娘と今は亡き妻に許しを乞いつつ倒れ、死んでしまう。翌日、正月元旦、喜ルのいいなずけの王大春が湯家に元旦のお祝いを言いに行き、戸口で楊白芳が冷たくなっているのを発見。喜ル、大春の母、王大嬭等が驚き悲しむ。そこへ、黄家の手代の穆仁智が悠然と登場する。穆は楊の死体を見て、その時はギクツとするがすぐ持前の口先でごまかし、証文を一同の者に見せ、喜ルをつれて行こうとする。だが、喜ルのいいなずけの王大春と彼の友人の大鎖は我慢できず、遂に穆を殴り、大鎖は穆の用心棒につかまり、大春は巧みにその用心棒の手をのがれる。穆は黄家へ喜ルを引っぱつていく。黄家へつれて行かれた喜ルは黄家の隠居の虐待を受け、又黄世仁に手ごめにされる。やがて、喜ルは身重になるが、黄世仁やご隠居からつき放され、自殺しようとする。だが、同じ黄家の女中の張二嬭に助けられ逃走する。そして三年たち、洞窟の中で住み、近くの廟のお供え物を食べ細々と生命を保ち続けてきた喜ルは村民から白髪、白毛仙姑と言われ、恐れられている。一方、黄家の追手をのがれた大春は八路軍に入つて、この村にやつて来た。大春は母や村民と対面する。そして白毛仙姑を種に村民を扇動する穆を見つけ、村民に白毛仙姑をつきとめることを約束し、その夜、遂に喜ルが白毛仙姑であることをつきとめ、翌日の人民大会で発表した。村民は口々に穆と黄世仁を批難した。横暴地主は滅び、村民は自由を得た。

* キャスト

楊白芳	土田(3)	張二嬭	松本(2)	農夫丁	藤井(1)	総監督	高城(3)	照明	山本(3)
喜ル	中浜(2)	大升	沢田(1)	〃 癸	堀江(1)	演出	松田(3)	衣裳	姫野(3)
紅喜	井上(3)	区長	安井(3)	〃 巳	斉藤(1)	〃	久保(3)	メイク	白木(2)
王大春	三沢(3)	虎子	桑山(2)	農婦	白木(2)	舞台監督	林(道)(3)	スライド	大城(3)
趙老漢	久保(2)	老夫ル	辻垣(3)	〃	井上(1)	音楽	海野(2)	情宣	奥村(3)
李栓	清水(3)	打手	中土(3)	女中	福井(1)	〃	中村(3)	渉外	辻垣(3)
大鎖	小寺(2)	〃	浅田(1)	〃	増井(1)	〃	三沢(2)	会計	井上(3)
黄世仁	蒲生(1)	〃	奥村(1)	〃	門田(1)	大道具	田中(3)		
黄母	浜田(2)	農夫甲	奥村(2)	自衛隊員		〃	野々村(4)		
穆仁智	河田(2)	〃 乙	木村(1)			小道具	岩田(3)		
王大嬭	岡本(3)	〃 丙	野口(1)			〃	宇野(3)		

* スタッフ

国民会館での催しもの

英語劇『ウォレン夫人の職業』 作・バーナード・ショウ

美とロマンスに陶醉した芸術家プレイドが見ようとしなかつた社会の裏面、その腐敗した泥沼に醜業婦として不屈に生き続ける キティ・ウォレン(ウォレン夫人)。骨のズイまで搾取される女工かさもなければ醜業婦、これが彼女に与えられた境遇である — それはもうあれかこれかという選択の問題ではない。そして資産家クロフツは彼女を巧みにあやつりながら富をほしいままにしていふ。彼らは、一つの醜悪な環境となつてウォレン夫人の娘ヴィヴィの前に立ちはだかる。一方牧師サミュエル・ガードナーの息子フランクは才媛であり、金をもつていそうなヴィヴィを執拗に追いまわす。彼女にとって環境はすでに人間の手をはなれて自分の行く手をはばみ、意志を踏みにじる怪物としてうつる。現実をあるがままの状態にとらえ、美とロマンスに背を向けたヴィヴィはこの耐え難い環境といかなる葛藤をくり返し、いかに生きていくのであろうか。

作者バーナード・ショウが60年前に大胆に告発したイギリス社会の暗黒面、そしてそこであえぎながら苦悩する若き女性ヴィヴィ。これは単に海のむこうの昔話にすぎないのであろうか。

*キャスト

ウォレン夫人／杉田欣子(2) フランク／八木一(1) プレイド／深川泰博(3)
ヴィヴィ／波多野美香子(3) サミュエル／西光義弘(2) クロフツ／塩崎英明(3)
ナレーター／門間貴代美(1)

*スタッフ

総務／平野恒彦(3) 演出／浦尾宏(3) 清水建男(2) 東嶋伸憲(1)
舞台装置／酒井康雄(3) 伊藤哲二(2) 向和彦(2) 久田正晴(2) 石原明(2)
山口正晴(1) 土井和義(1) 佐藤千世子(1) 小坂佳子(1)
衣裳／佐藤三穂子(3) 小田八洲子(3) 紘野万紀子(2) 上田久美子(2)
山下美智子(1) 中川郁子(1)
メーキャップ／山内美智子(3) 上三恵子(2) 副田喜代子(1)
照明／南部光和(3) 大橋国男(2) 糸乗和子(1)
音楽・効果／大脇由紀夫(3) 伊藤市郎(2) 中路公男(1)
情宣／馬野誠(3) 高橋輝次(3) 広岡昌平(2) 浦谷光子(1) 伊藤寿子(1)
脚本学習／毛利良一(3) 長谷川和久(2) 長崎聖子(2) 衣笠弘志(1)
和泉明子(1)

国民会館での催しもの

ロシア語劇 『検察官』 作・エヌ・ヴェー・ゴーゴリー

ロシアの都ペテルブルグから遠く離れた田舎町に、大事件がもちあがつた。それは、ペテルブルグからおしのびで、検察官がやつてくるといのである。汚職と不正を日常茶飯事としている市長や判事、慈善病院長、郵便局長、学務監督などは大あわて。

そこへ田舎地主のドプチンスキーとボプチンスキーという、きわめてよく似ている二人が、ペテルブルグからきた紳士が宿屋にとまづいて、あちこちじろじろみて歩いているという。これはきつと検察官にちがいないという。

一方宿屋では、ペテルブルグの下級官吏で、大の放蕩者フレスタコーフという若い男は、賭博ですつかりすつてしまい、無一文で宿屋にやつてきたのだが、2週間も滞在して、宿屋で信用されなくなり、食事もだしてくれない。宿屋の主人は彼を訴えるという。彼は、腹はへるし、監獄へはいきたくないし、すつかり困つてしまふ。そこへ、彼の召使いオシツプがやつてきて、市長がおいでになつたという。……

*キャスト

フレスタコーフ	：北田（2 A）	ルカー（学務監督）	：柳（3）
オシツプ	：柄谷（2 B）	アムモス（判事）	：瀬川（1 B）
市長	：見上（2 B）	アルチエーミイ（慈善病院長）	：横田（2 A）
その妻アンナ	：中川（3）	下士の妻	：松尾（2 B）
その娘マリア	：藤田（2 A）	錠前屋の妻	：井上（2 B）
郵便局長	：奥本（3）	給仕	：横山（2 B）
ドプチンスキー	：寺尾（3）	コロプキン	：浅井（2 A）
ボプチンスキー	：粉川（2 A）	その他多勢	

*スタッフ

制作	：黒川（3）	衣裳	：三宅（3）
演出	：三木（3）、寺尾（3）	メーキャップ	：小林（2 A）
	古田（2 B）、粉川（2 A）	渉外	：重田（3）
舞台装置	：桐山（2 A）	会計	：吉田（2 B）
照明	：井家（3）	情宣	：萩原（3）
効果	：岡本（2 A）	字幕	：横路（2 B）

国民会館での催しもの

インドネシア語劇『PertalianTginta』 日本語題 —愛の絆—

昨年の「愛のおくりもの」に続く“愛のシリーズ”オ二弾「愛の絆」

さてドウワラワティにサリアという女性が住んでいました。彼女には恋人がおり、結婚しようとするのですが、突如として現れた熱血漢ジャミールの為に彼女の恋人は殺され、彼女はジャミールのもとに嫁ぎます。ジャミールは妻を大変愛してはいますが、国家建設の仕事のため妻の欲する家庭の安らぎ、夫婦二人きりの語らいといったものは望めません。サリアはそんな退屈な日々にはいや気がさして天国へ逃げてきます。一方天国では、神々の中でスマラク・ジャヤにはジャヌアティという妻がいます。スマラク・ジャヤはなかなかの好色家でジャヌアティは、いつもその度に心を悩ましています。ジャヌアティはサリアの説明する下界の生活にひかれてゆき、下界へ降りるといいます。又、サリアはジャミールのもとから逃げて天国で生活したいと言います。ジャヌアティがジャミールと一緒に下界へ降りる時になつて、サリアの心は揺らぎます。さて……

*キャスト

ジャミール	：津野悌二郎（3）	
サリア	：山田加代子（3）	
デワ・スマラク・ジャヤ	：松田靖行	
デワ・ステイア・ムダ	：蜂谷博久	
デワ・ダルマ・デワ	：藤原義夫	
デウイ・ジャヌアティ	：北川逸子	
番兵	：中岡和彦	柳沢長四郎
ガイド	：竹中健子	

*スタッフ

演出	：竹内 建（3）	渉外：長谷川卓也（3）
舞台装置	：椿井捷信（3）	佐野幸一（2） 松尾 悟（2）
小道具係	：上野吉昭（3）	加田 治（2）
衣裳・化粧	：篠原和子（3）	泉 三郎（2）
照明	：角田 広（3）	渡部悠三（2）
効果	：井上隆司（3）	山崎聖文（2）

展示会・討論会

* インドネシア共同研究 インドネシア研究会 於 B 1 2 教室 10:00 ~ 12:30

9. 30 運動を中心とする研究発表です。ゼミ形式で行います。

- o 1945 年来のおおざっぱな流れ o マレーシア紛争
- o 9. 30 前後の客観的把握 o ロシア革命と 9. 30
- o 9. 30 勃発に関する世界的な要因 o 9. 30 における国内的要因
- o 9. 30 における各勢力の動き

* 教科書に表われた朝鮮 朝鮮語科 1 年 於 A 8 教室

1910 年から 1945 年までの朝鮮をとりあげ、この背景を知つて、現在発行の教科書を扱う。高校の日本史・世界史・中学歴史の教科書・小学校社会の教科書、総数 30 冊位をとりあげました。このようなことは現在・あちらこちらの先生達によつて行われていますが、朝鮮語の学生として、教科書を通して、日本の朝鮮に対する扱いを探り、日本の朝鮮に対する偏見、蔑視、無関心を改めていく。

* 近代モンゴル紹介展 モンゴル研究会・日モ親善の会・東外大モンゴル研究会
於 A 3 教室 10:00 ~ 12:30

今年の夏、訪蒙した日・モ親善の会代表団が現代モンゴルの貴重な写真等を持参して帰国しました。この機会に外大生の皆様に広くモンゴルの現状を知つて頂きたいと思ひ展示会を催す事にしました。

* ベトナム侵略の基地としての沖縄、小笠原 於 A 5 教室

沖縄小笠原返還同盟 10:00 ~ 12:30

クワとモッコを肩に現場へ

いそぐベトナムの突撃隊員 アメリカは 6 月 29 日、ハノイ、ハイフォンを爆撃しました。ベトナム民主共和国ではくりかえし破壊される道路や橋をなおすため青年突撃隊が頑張っています。



アメリカによるベトナム侵略戦争は、ベトナム人民の英雄的な反撃によつて、増々アメリカ不利になり、これを打開するため米軍とカイライ軍はありとあらゆる、残虐な行為を行つている。米軍の兵たん、補給基地となつている沖縄において、軍港の拡張基地拡張のため、土地取上げが行われ、農民による抵抗が激化し、裁判移送問題と共に、沖縄県民の斗いは島ぐるみのものに発展している。

* 自衛隊徴兵制調査について討論会

外大 平和を守る会

全学討論

『実際問題としてわが大学に学問・研究の 種子は培養しうるか』

—最近の学生の自主的な研究活動の胎動をめぐって—

—— 外国語大学における学問・研究はいかにあるべきか —— 私たちは、つきることなく、中絶しては、掘りおこし、また踏みつけ、終えることなく外国語大学の学生という型体の中にある限り、このテーマのもとに考え、歩んできた。そして、その——いかにあるべきか——を見いだした訳でもなく、かすかな前途へのあかりを見つけだしたというのでもなく、ともかく一人一人が形や、量こそは違え、一人の外大生としての過程をたどってきた。

しかし、私たちの、先輩たちの、その時間的な経緯はこの一定の外国語大学という空間の上に何をもたらしたのだろうか。一人一人の私たちが掘りおこしては、そしてそれは再び踏みしだかれていつただけなのだろうか。それとも、その掘りおこした土壌の中に、私たちは、一つの種子でも落してはいなかつたのか、たとえば、それが、捨てられ、私たちとは知らないままであつたとしても。

種子は落されたのだ。ともかく糞をたれる様にして、捨て落されていつたのだ。そしてたとえば、その種子が踏みつぶされ、歪んでいたとしても、それを一つの培養しうる種子と信じようではないか。

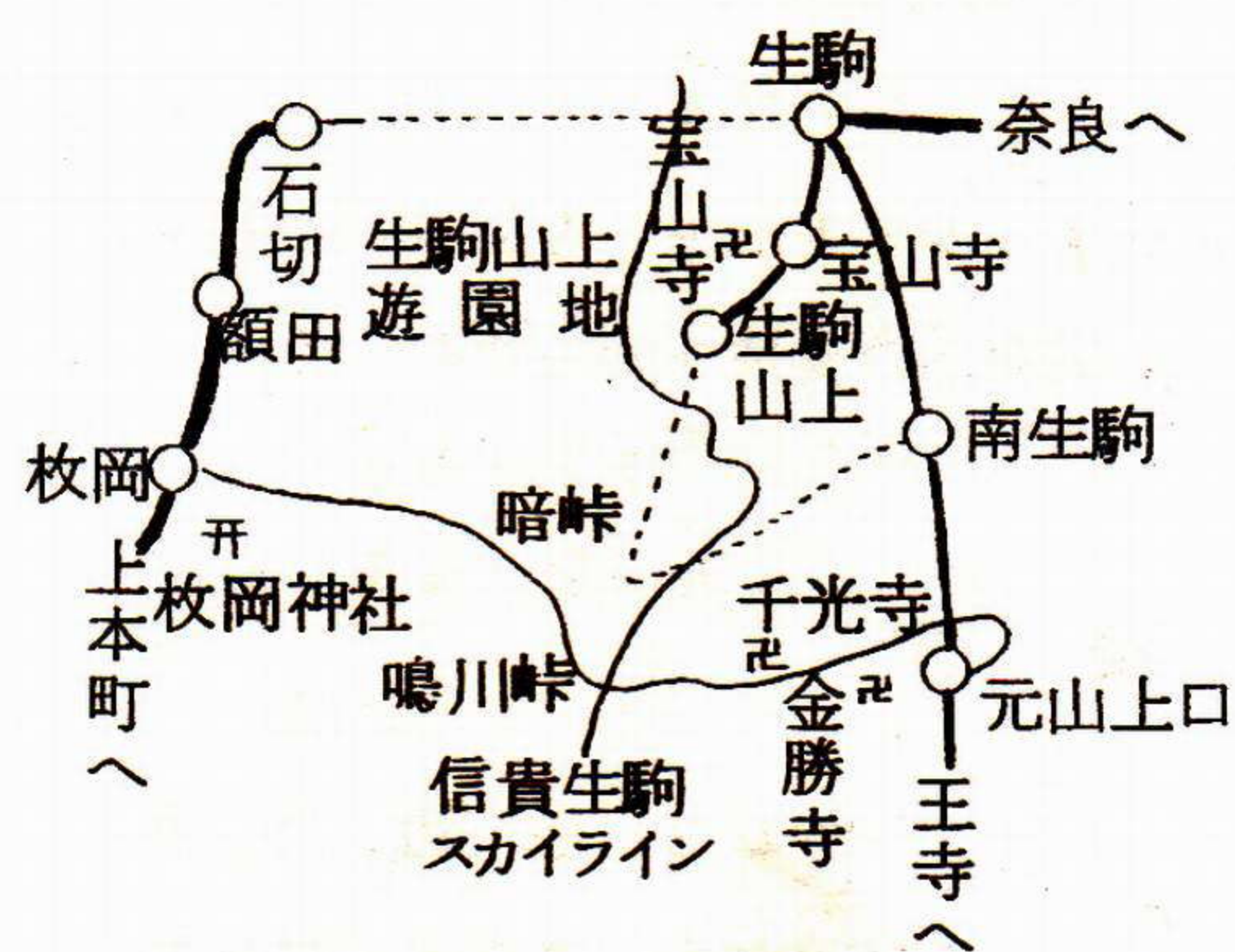
現在、我大学には、学生の自主的な研究サークル、研究会等として、一応学生自治会の文化組織の連合体である文連協に結集しているクラブとして、歴研・中研・朝文研・文美研・社研・資本研リアリズム文学研究会等々がある。そして各語科を母体とした研究会としては、中国研究会、インドネシア研究会、英米研等がある。又、語科を本質として基盤としたものではないが、外国語大学という特殊性が、我大学において、各研究クラブ等よりも大きな影響力のもとに、日中友好協会、日ソ協会・日朝協会・沖縄小笠原返還同盟、A・A連帯、日独友好協会等がある。これらの団体は研究を主としたものではないが、その団体をささえる語科のバックボーンのもとに、学生としての条件の中で、研究活動も発展しつつある。そしてまた、今まであげた程の組織力はないとしても学生が自から顧問としての教官を中心として開いている種々の研究会がある。これらの研究会、サークル等を抱括した形で、今、学生自治会執行委員会のもとに、年一度発行の「外大総合雑誌」としての『求索』がある。さらに昨年から始つた外大祭を記念して発行される『世界のわかものよ』（世界短篇小説翻訳集）があり、今年からは、統一テーマのもとに結集した「研究論文集」としての『1930年代の世界』（今年のテーマ）が出される。

以上、今ここであげることのできなかつた他にも多くの小さな研究会がある。そして、そこではほとんどのところで定期的な、研究の一定の成果をなんらかの形で発表しつつある。

カリキュラム・教官、予算と貧困に貧困をおつかぶされるようにして、その形を保とうとする我
外国語大学で、ともかくも、学生の、学問・研究にたいする、エネルギーはわずかながらではある
が、その種子を落しつつあるのだ。その落され、植えられようとする種子は、果して『地の糧』と
なりうるのだろうか。その種子はそれでも、私たちの周りで、私たち一人一人の中で培養されうる
ものなのだろうか ——。

11月3日(水)ハイキング

*暗峠・鳴川峠コース



発駅(近鉄電車)枚岡駅(0.2k)
枚岡神社(1.8k)暗峠(1.5k)
鳴川峠(1.5k)千光寺(4.0k)
金勝寺(0.5k)元山上口駅(近
鉄電車)発駅帰着

空は青い

今日の
みんなの
心も青い

さあ、素晴らしい秋です!

生駒の古寺遺跡をたずね

秋の一日を楽しくすごそう

ではありませんか。

*集合

近鉄上六テレビ下

*11月3日 9:30 P.m

*費用

交通費 200円(往復)

*お弁当を忘れな いでね!

*道のり 9.5Km(くだりが4.5Kmですからわ
りに楽です)

☆ 1930年代の世界

E3 毛利良一

編集委員 I3 西口清勝

D3 春山清純

恐慌に始まる資本主義の全般的危機の深化、ファシズムの抬頭、反ファシズム人民統一戦線の結成、植民地での反帝反封建闘争など、第2次世界大戦につながる激動の時代を、外大生の手により、世界的規模で明らかにし、ベトナムを矛盾の集中点とする現代への歴史的教訓を考える。

<日本> 中国侵略と戦争経済

C4 成瀬竜夫

世界大恐慌のもとでの金解禁、金輸出再禁止から満州侵略と軍事インフレへと、30年代の日本は、はてしなき戦争への第一歩を踏み出した。侵略と戦争経済、国民生活の実情を明らかにしながら、現代への歴史的教訓をさぐる。

<中国> 革命主体の確立

C2 田辺秀夫

1930年代中国は革命主体の確立期である。では、その革命の主体は何か、またそれはいかにして可能だったのか。

<中国> 中国の文学状況

C2 桑山哲郎

1927年頃から始まった革命文学論争、そして左翼作家連盟の成立、「文芸講話」へと発展してゆく文学史。

<イタリア> 史上初のファシズム国家の成立

—資本主義の死滅と関連づけて—

I3 西口清勝

ファシズムは1922年、史上初めてイタリアに現われた。資本主義の全般的危機の第一段階に突入するとまもなく現われて来たのである。このことは何を意味するのであろうか？現下60年代の危機の第3段階でファシズムの実体を考えてみよう。

<ドイツ> ナチスの興隆

D3 豊島則夫

ヨーロッパを戦禍に巻き込んだヒトラードイツの興隆。それを許したイギリス・フランスの宥和

政策。第二次大戦の原因はなにか。ベトナムで戦争が行われている現在、もう一度見てみる必要があるのではないだろうか。

<フランス>

30年代のフランス

F1 浜下昌宏、荒嶋明子 前田陽子、井村博司、橋口喜郎、富永 泉

世界恐慌の影響を比較的遅く顕したフランスの30年代を、経済不況化に、年来の独仏問題と関連した独ナチズムとの対決、あるいは国内ファシズムの抬頭に対した、左翼統一戦線の動きと知識の活躍を中心に展望する。

<スペイン>

スペインに於ける革命の崩壊過程

S4 平井孝征

1936年に勃発した反動蜂起による革命と反革命の熾烈な闘争は、欧州資本主義諸国と新生ソ連諸国の諸階級の国家利益と階級利益の間に戦われ、民衆の自発的蜂起は、その間に圧殺され、第2次大戦の序曲の感を呈する。革命の崩壊過程をスペイン近代史の中でえがく。

<アラビア>

30年代に於けるアラブ民族主義運動

A3 今井邦成

ヴェルサイユ体制によりアラブは多くの国々に分割され、行動を統一することが困難になつていった。しかし、30年代に入ると、パレスチナ問題を起点として行動を統一しようとする気運が現われてくるのである。

<イラン>

イラン人民の目ざめ

P2 中島陽立

今日、ソ連、中国をとりまく一連の反動国の一つに数えられているイランにおいても、かつて激しい反帝反封建の闘争があつた。精神的風土イスラムにもふれながら、今世紀前半のイラン民族解放闘争を概説する。

<ビルマ>

ビルマナショナリズムの一過程

B4 畑中秀樹

1930年に勃発したサヤーサンの反乱はかつてない収獲のある反乱であつた。この頃からビルマ民族主義運動は封建的反抗から、ようやく近代的な革命的、反植民地主義への胎動が始まつた。

1930年代は、その過渡期としての動きがすでに見られる興味ある時期である。

<タイ> 立憲革命とタイ国に於けるナショナリズム

T1 矢上秀子、田坂敏雄、田口 進 2 相川信之、土森道雄

1932年6月24日、タイ国で初の立憲革命が勃発した。これは旧来の絶対王制の崩壊を意味し、その主翼を担う人民党の出現に意義がある。しかしこの革命も新政府樹立後には、逐次、その勢力が後退していった。

<アメリカ> 恐慌とニューデール

—国家独占資本主義への移行—

E3 毛利良一

南部の農業とニューデール農業政策

E3 平野恒彦

1929年に始まる史上空前の大恐慌はいかにして起つたか。その克服策としてのニューデール諸政策は、はたしてアメリカ経済の危機を救つただろうか。経済の軍事化がここに始まる。

<ソ連> 迫りくる侵略戦争の危機と 躍進する社会主義建設

R3 鈴木勝比古
萩原建雄

資本主義世界に荒れくる大恐慌と迫りくるファシストの侵略の危機の中で、ソ連邦の社会主義建設は驚くべきテンポで進められた。大祖国戦争の試練に耐え、勝利した社会主義計画経済と社会主義的人間像をさぐる。

<モンゴル> 封建制から社会主義へ

—モンゴルにおける人民民主革命—

M2 北山将幸

ジンギスカンと草原の国が、いかにして社会主義の国にすすんだか。外国侵略者と国内封建主義者に反抗して、人民はモンゴル人民革命党を先頭に反帝反封建の民族民主革命に立ち上がった。資本主義時代を経なかつたモンゴルをさぐる。

<アフリカ> アフリカの神話と現実

N2 山崎聖文

アフリカは昔も今も貧困である。それは事実である。しかし、それはアフリカ人の「後進性」あるいは、「非能率」、「未熟練」のゆえである。というのは事実ではない。それは「神話」である。さて1930年代のそれは？

外大祭 世界のわかものよ(第2集) 記念出版

—— わかものの瞳の輝くとき、その国の未来は明るく、わかものの瞳のくもるとき、その国の未来もまた暗い ——

まさしく、わかものほど、歴史と民族のよろこびを、苦悩を敏感に反映するものではありません。わかものたちは、この歴史の転換期たる現代の緊迫した情勢の中にあつて生の重みに苦悩し、傷つきながらも、しかしたくましいエネルギーで前進しようとしています。

このわかものの現状を世界的な視野で知ることは我々自身の生へのはげましともなり、又、相互の理解を通じての連帯への一助ともなるのではないでしょうか。

アラブ連合 『血の讃歌』 A 3 中村嘉雄

砂漠に林立する墓標、それを守る墓守。幻想的な舞台を背景とし、ある夜訪れた客との対話の中で“戦争とは —— ” “殺人とは —— ”などの問題を追及する。

ビルマ 『セインの指輪』 B 4 藪 司郎

幼いころ両親と別れた娘セインは多感な青年たちにとりまかれて乙女心をときめかせたり自分の境遇に悩んだりする。ビルマという風土に織りなす人情の機微を描く。

中国語 『理想の道』 C 3 田中雅晴

町の師範学校を卒業した17才の娘張海が単身、文化から取り残された貧乏村白雲村の小学校に赴任し村人に文字を教え文盲の村に文化をもたらす。

アメリカ 『ジュステイースとジュリエット』 F 3 長岡弘也

聡明で近代的な女性ジュリエットと、古風なありふれた娘ジュステイースの生き方を対比する中で、愛と女性の生き方を皮肉な、しかし理解のある目で描いている。

インド 『酒 場』 H 4 北条義信、井上恭子、佐藤哲雄

1930年代のインド独立運動が舞台。酒のボイコット運動をめぐる一般大衆と不屈の活動家ジャラーム、婦人活動家サクセーナたちがおりなす独立斗争の一場面をいきいきと描く。

イタリア 『伍長になつた反逆者』 I 3 櫻谷修平、花田竹彦

不十分な理解しか持たず行動を起こそうとする無政府主義者のもろさ、甘さを戯曲化する

イタリア 『外 套』 I 2 斉藤典子、中谷桂子

戦死したと思っていた息子が帰ってきた。狂気する母親。しかし何かに慄く息子の様子。

北朝鮮 『朝日に映える大地』 K 2 谷沢晴朗 他

社会主義朝鮮いつたにくり広げられる農業協同化の中で貧しい農村を豊かに導くあるオルグ。

南朝鮮 「大学のキャンパスは『ガラスの動物園』か」 K 4 坂本孝夫

日朝反対斗争にやぶれ、挫折ムードの中で次の斗いを準備し決意する南朝鮮学生の手記、三篇

インドネシア 『女 心』 N 3 藤本良信

愛の深みに落ち込み傷つくと知りつつそれより脱け出せぬ女の苦悩と哀しみを描く。

ソ連邦 『ぼくらが会えたのはよかつた』 R 3 三宅康子

社会主義国における青年の心暖まる、さわやかな交流

ソ連邦 『17日の水曜日』 R 3 中川智香子

死者に対する生きているものの義務は、その死を意義づけ、そのために力を尽すことなのだ。

タイ 『娼婦の告白』 T 3 芝田康正

生活苦から身を落していつたある女の、悲しみと貧困の人生実話

南ベトナム 『オロクおばさんの子供』 K 4 坂本孝夫

ゴ・ジン・ジエムに追われて死の島に送られる流刑囚を運ぶ船の中で女囚人が子供を生む。その生まれたばかりの子供をめぐって船内で囚人たちはいつせいに蜂起する。

ベトナム 『英雄時代の青年一代』 C 3 奥村 稔

反米救国斗争にめざめ、不屈の斗いを展開し、死刑に処せられる南ベトナムの若い知識人を描く。

編集委員 K 4 坂本孝夫 C 3 田中雅晴 E 3 高橋輝次 I 2 福島昌陽 A 2 太田雅子

第18回 外大祭実行委員会

実行委員長 森上和茂 (E 3)

事務局長 成瀬政博 (K 2)

企画部長 福島昌陽 (I 2)

財務部長 松井京子 (S 2) 部員 伊藤正晴 (I 2)

各小委員会

◇映画と講演会の委員会／本多 武 (K 1)、波多野静江 (I 2)、吉田久夫 (E 2)

◇スポーツ祭典委員会／小野寺勉 (E 2) 体育会

◇前夜祭の委員会／平野恒彦 (E 3)、山田真紀 (I 1)
中村玲子 (I 1)、野村和良 (P 2)、平野邦彦 (E 1)
尾辻 (M 1)

◇全学シンポジウム委員会／田中清和 (C 4)、玉置 (C 1)

◇国民会館委員会／北山将幸 (M 2)、永尾 (M 1)、津田
雄三 (E 3)

◇学内討論会委員会／中川留次郎 (K 1)、床次泰文 (N 1)

◇ハイキング委員会／和泉明子 (E 1)、上三恵子 (E 2)、
武田忠夫 (E 2)

◇「世界の若者よ」編集委員／委員長／太田雅子 (A 2)、
高橋輝次 (E 3)、坂本孝夫 (K 4)、福島昌陽 (I 2)、
田中雅晴 (C 3)

◇「1930年代の世界」編集委員会／委員長／毛利良一
(E 3)、西口清勝 (I 3)、春山清純 (D 3)



◇編集後記

アメリカのベトナム侵略戦争に反対し世界で初めての全労働者のゼネラルストライキがこの侵略戦争の基地となっている日本でうたれるという余りにも政治的な、動的な、はげしい情勢の中、第18回外大祭は幕を切ります。

私たち外大祭実行委員も、このような揺り動く雰囲気の中で、中間テストという悪条件にもかかわらず、何とかここまでがんばってきました。9月の新学期が始まってからは目のまわるような忙しさで、印刷にまわす原稿をまとめてしまつた今、ちよつと一息ついたところです。今これまでの準備をふりかえつて、もつといいものに出来たのに……と思う事がいくつかあります。また外大祭の主流である語劇にしても、毎年毎年、語劇がもつ限界をのりこえようとする新しい試みはなされてはいますが、やはり大きな停滞という感はずなげれません。

年に一度の大きな学問的、研究活動、文化運動の花咲くこの外大祭を、なんとか全外大生が心の底から、顔いづばいの拡がりをもつて迎える時はいつ来ることか。——嘆きばかりで満されてはいけない。ともかくみんながんばつた。この忙しさが報れることを願います。

事務局長 K2 成瀬政博

宴会 パーティに御利用下さい

北 京 料 理

南 海 飯 店

TEL. 771-4185
ヨ イ ヤゴ

フランス書 イスパニア書

阪 急 外 国 図 書 売 場 百 貨 店

大阪市北区梅田 1
TEL. 大阪 361-1381 内線 661

民主書籍 中国関係図書

上七より50米西

大 安 書 店

だい あん

TEL 771-4176

●近 刊●

中国通信
安藤彦太郎 900円
東洋の歴史 各490円
中華人民共和国
行政区割簡冊 400円

す き 焼
お好み焼

お好み焼
専 門

幸

771-
6121

上六近鉄会館西半丁

あけの

771-
2385

皆 様 の

富士銀行上六支店

大阪市天王寺区上本町六丁目(近鉄西北角)
TEL 762-5751 代表

美 容 室

美容術 コールドパーマ

ビューティ シ ミ ズ

大阪上六ビル地階 TEL 771-9878

ローレンス・オリビエ主演

オセロ

66年英王室選定映画

OTHELLO 愛することを知らずして愛しすぎた男の悲劇……
奸臣イアーゴの謀略にのせられて破滅する英雄オセロの生涯!!
シェークスピア文学に挑むナショナル・シアターのメンバーの凄まじ
いばかりの名演が観る者を興奮のるつぼに巻き込む怖い迫力
文部省特選 / 優秀映画鑑賞会特薦 ■11月23日公開 学生料金 180円
第7回戎劇名画祭にはオセロ以下最近の名画をずらり揃えました。

戎 橋 劇 場

心齋橋筋戎橋北詰 / キリン会館 (211)1223

飲み放題!! 食べ放題!!

＊バイキング料理とお飲みもの＊

喫茶・グリル

雪

近鉄会館南隣・上六大映前

TEL (771) 0730・7231

一般古書 売 買

天地書房

上六近鉄会館前

TEL 771-2459・772-0252

皆様のお役にたつ

品

三和銀行上本町支店

天王寺区上本町六丁目(近鉄西側)

TEL 772-1141

斯界唯一の文部省認定

現代人の必修科目

早稲田速記学院

入学 4月・10月(2年制)

大阪市天王寺区城南寺町9-5

TEL 762-7244・0863

品質本位に作られている

信濃ガットギター

ギター・マンドリンの權威

関西樂業株式会社

大阪市西区土佐堀通2の6

TEL (441) 0465・7034

飲み放題!! 食べ放題!!

＊バイキング料理とお飲みもの＊

喫茶・グリル

雪

近鉄会館南隣・上六大映前

TEL (771) 0730・7231

一般古書 売買

天地書房

上六近鉄会館前

TEL 771-2459・772-0252

皆様のお役にたつ

品

三和銀行上本町支店

天王寺区上本町六丁目(近鉄西側)

TEL 772-1141

斯界唯一の文部省認定

現代人の必修科目

早稲田速記学院

入学 4月・10月(2年制)

大阪市天王寺区城南寺町9-5

TEL 762-7244・0863

品質本位に作られている

信濃ガットギター

ギター・マンドリンの権威

関西楽業株式会社

大阪市西区土佐堀通2の6

TEL (441) 0465・7034

古書籍全般売買

株式会社 天牛本店

南区道頓堀 中座前
電話 (211) 2 7 5 8 ・ 2 7 5 9

古書籍

天海堂

アベノ近鉄百貨店南100m西側
電 (641) 4 4 3 5

大和文華館

(月曜休館)
近鉄奈良線学園前駅すぐ

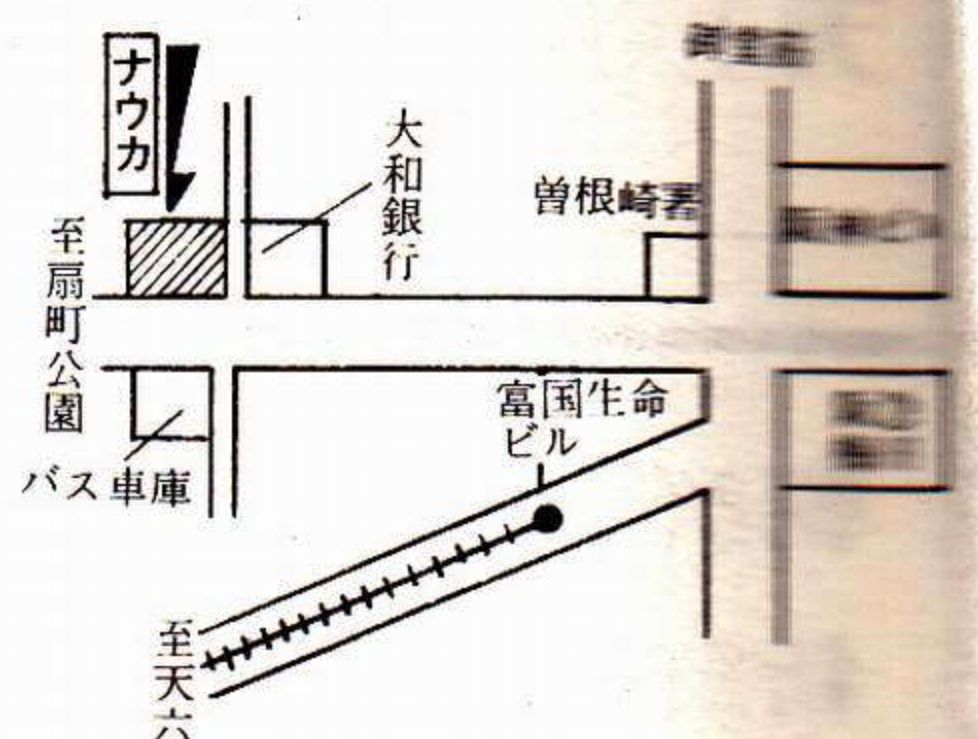
パン・サンドイッチの喫茶室

株式会社 アメリカ堂

本社工場 柏原 (72) 1621~9
上六店 大阪 (711) 4264・4436

- レーニング全集 (全55巻)=露文=
“予約受付中” 本年から1970年にかけて再び全55巻が出版されます(各巻300円)
- マルクス・エンゲルス選集 (第一巻270円 第2巻340円)
- 資本論 (全3巻)
独文版、第1巻11,050円 第2巻330円 第3巻450円
その他 露文 英文 仏文版があります。
- 全日成2巻選集 (英文版) 1,2巻とも1,350円
その他各国書籍 レコード
国内の民主的出版物も多数とりそれえております。

ナウカ 株式会社



中華料理専門
上六近鉄会館前

天 平

お近くで便利な

百五銀行

大阪支店

大阪市天王寺区上本町7丁目
TEL (771) 9302

大阪外国語大学指定 玉村洋服店

布施市永和1の63
(近鉄奈良線永和下車)
電話 大阪 (721) 0637

大阪外国語大学指定 大野洋服店

大阪市住吉区沢之町26
南海高野線沢之町下車沢之町球
場南ノ辻西へ入ル松竹温泉向イ
電話 大阪 (691) 2015番

書籍・文具・事務用器具

株式
会社

トッパセールズ

大阪市東区北浜四丁目八番地 電話大阪 (203) 5621-9
大阪市北区梅田二 第一生命ビル専門大店内 電話大阪 (341) 1184
大阪市東区大手前之町 府警本部内 電話大阪 (941) 4214
大阪市東区本町四丁目二七 御堂地下センター内 電話 (252) 0547

学生アルバイト募集中

朝日イブニングニュース勧誘

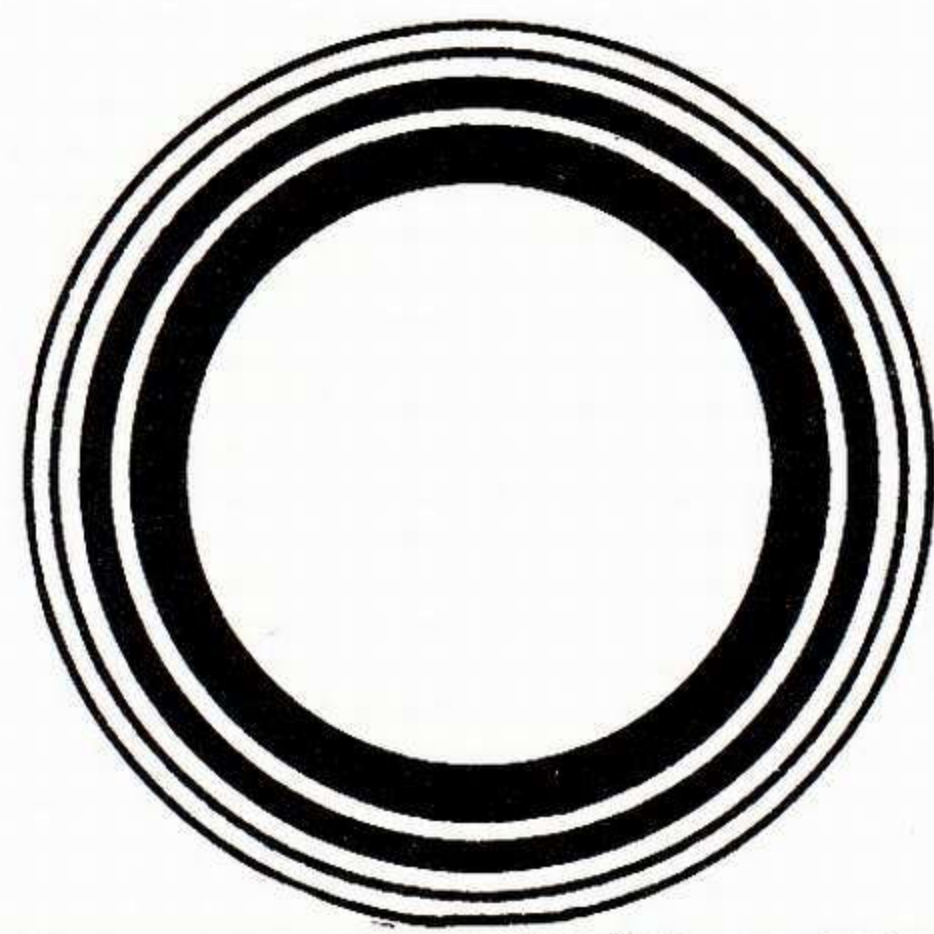
Read

today's news
today!

All important domestic news
from the Asahi Shimbun
Asahi Editorials; Vox Populi, Vox Dei

¥430 per month

See your nearest Asahi Shimbun
distributor or call 453-1431



ASAHI EVENING NEWS

暮らしに リズムを創ります



家具・室内装備・電気
日米ブラインド工業代理店

千巻株式会社

・本社 大阪市西区肥後橋 大同ビル4階 電話(441)1052・8592
・営業所 大阪市都島区高倉町2丁目51番地 電話 (922)3637~9



堅牢で故障の心配がない

ヘルメスタイプライター スイス製

¥29,500より、ポータブル手動・半電動・全電動各種あり
英文、ドイツ、フランス、ロシア、ギリシャ、各国語、カナ、コンビ、発音記号タイプライター

スイスヘルメスタイプライター西日本総代理店

北川タイプライター株式会社

大阪市東区京橋3-60(天神橋交叉点東府立労働会館前) TEL(942)5385~9
名古屋営業所 名古屋市東区東片端町2丁目5番地 TEL(961)4717